



2020年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年1月10日

上場会社名 株式会社イオンファンタジー 上場取引所 東
 コード番号 4343 URL <https://www.fantasy.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤原 信幸
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役 グローバル管理統括 (氏名) 新田 悟 (TEL) 043 (212) 6203
 兼 リスクマネジメント担当
 四半期報告書提出予定日 2020年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年2月期第3四半期の連結業績(2019年3月1日~2019年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第3四半期	55,694	3.0	2,488	4.2	1,864	△12.3	112	△78.4
2019年2月期第3四半期	54,081	2.6	2,388	△32.6	2,126	△33.9	519	△62.0

(注) 包括利益 2020年2月期第3四半期 △144百万円(—%) 2019年2月期第3四半期 484百万円(△69.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第3四半期	5.69	5.68
2019年2月期第3四半期	26.33	26.25

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年2月期第3四半期	58,039	27,625	46.7
2019年2月期	48,891	29,220	58.5

(参考) 自己資本 2020年2月期第3四半期 27,103百万円 2019年2月期 28,591百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2020年2月期	—	25.00	—	—	—
2020年2月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年2月期の連結業績予想(2019年3月1日~2020年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	78,000	5.1	5,400	16.1	4,750	10.5	2,150	15.3	109.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2020年2月期3Q	19,751,625株	2019年2月期	19,728,325株
2020年2月期3Q	1,438株	2019年2月期	1,384株
2020年2月期3Q	19,742,959株	2019年2月期3Q	19,716,081株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

2020年2月期は、次期中期に向けた成長基盤の構築を図るべく、「事業領域の拡大と進化」「新規出店の推進」「国内外店舗活性化の推進」「中国事業の改革」「国内の消費税増税対策」などに取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間(2019年3月1日～2019年11月30日)の当社及び連結子会社7社の連結業績は、売上高は556億94百万円(前年同期比3.0%増)と過去最高となりました。営業利益は24億88百万円(同4.2%増)、経常利益は18億64百万円(同12.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億12百万円(同78.4%減)となりました。なお、店舗設備等の減損損失5億62百万円を計上しております。

国内、海外ともに新規出店、店舗活性化を推進する一方、不採算店等の閉店を実施いたしました。これらの結果2019年11月末の店舗数は、国内436店舗、海外442店舗の合計878店舗(直営店868店舗、FC等10店舗)となり、海外の店舗数が国内の店舗数を上回りました。

(国内事業)

国内事業は、当第3四半期連結累計期間の売上高が前年同期比2.9%増と順調に推移いたしました。主な要因としては、当期の戦略的強化部門と位置付けたメダル部門において、強化施策として取り組んでいる人気ゲーム機の積極的導入や、店舗別価格体系の見直し効果等により、同部門の当第3四半期連結累計期間の既存店売上伸び率が9.5%増と大きく伸ばしたことに加え、主力部門であるプライズ部門も映画関連商材が堅調に推移し、既存店売上伸び率が4.5%増と好調に推移したことによるものです。

また、当第3四半期連結累計期間は、3店舗の新規出店と不採算店等15店舗の閉店を実施いたしました。11月には今年度グループ外出店2店舗目となる「モーリーファンタジー」を、大阪駅北口のヨドバシ梅田タワー「LINKS UMEDA」にオープンいたしました。当店舗はスキッズガーデンに複数のエデュテイメントコンテンツを導入、また、キャッシュレス対応の店舗として順調な滑り出しとなっております。

当第3四半期連結累計期間に32店舗の店舗活性化及び増床を実施し、活性化後の売上前年比12.9%増と着実にその効果が現れております。また、ガチャ専門店「TOYS SPOT PALO」(10～30坪)を15ヶ所に出店し、当社オリジナルの大型ガチャ機やオリジナルカプセル玩具等の導入により売上が順調に拡大しております。

一方、消費税増税対策として実施している経費削減効果は、第3四半期連結累計期間で238百万円、年間計画に対する達成率は73%と順調に進捗しております。

以上の結果、国内事業における当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高448億94百万円(前年同期比2.9%増)、営業利益33億8百万円(同20.7%増)となりました。

(中国事業)

中国事業は、当期の重要課題である「事業改革」として、リデンプション方式(ゲームの結果に応じたポイントを景品と交換ができる)の機械への切り替え導入を推進しており、当第3四半期連結累計期間に64店舗の切り替えを完了し、導入前と比較して売上高が23.9%増となったことに加え、キッズーナ31店舗の活性化効果(活性化後の売上前年比22.0%増)等により当第3四半期連結会計期間では既存店売上伸び率は12.9%増となり、第3四半期連結累計期間の既存店売上伸び率は2.8%減まで回復いたしました。(第2四半期連結累計期間の既存店売上伸び率10.2%減)

当第3四半期連結累計期間は17店舗の新規出店と不採算店等12店舗の閉店を実施し、2019年11月末の店舗数は222店舗となりました。

以上の結果、中国事業における当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高63億55百万円(前年同期比3.2%減)、営業損失8億64百万円(前年同期営業損失4億65百万円)となりました。

(アセアン事業)

アセアン事業は、タイが店舗活性化効果や不採算店舗の閉店等により営業利益は順調に改善が続いており、当第3四半期連結累計期間で前年から87百万円の改善となりました。また、ベトナムも店舗活性化の効果等により既存店売上伸び率が8.8%増と好調に推移し増益となりました。一方、マレーシア、フィリピン、インドネシアは依然として苦戦が続いており、アセアン事業合計で減益という結果に終わりました。

当第3四半期連結累計期間に18店舗の新規出店と、不採算店等6店舗の閉店を実施し、2019年11月末の店舗数は220店舗となりました。

以上の結果、アセアン事業における当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高46億79百万円(前年同期比14.2%増)、営業利益47百万円(同58.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、128億70百万円となり、前連結会計年度末に比べ32億51百万円増加いたしました。主な内訳は、現金及び預金の増加(3億22百万円)、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であり、売上預け金のうち11月上旬分が翌営業日に決済されたことによる売上預け金の増加(24億82百万円)であります。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、451億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ58億96百万円増加いたしました。主な内訳は、新規出店や既存店活性化投資に伴う遊戯機械の増加(11億96百万円)、在外連結子会社におけるIFRS第16号「リース」の適用に伴う使用権資産の増加(51億72百万円)であります。

以上の結果、総資産は580億39百万円となり、前連結会計年度末に比べ91億47百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、208億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ75億45百万円増加いたしました。主な内訳は、短期借入金の増加(31億24百万円)、在外連結子会社におけるIFRS第16号「リース」の適用に伴うリース債務の増加(16億68百万円)、設備関係支払手形の増加(9億76百万円)であります。

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、95億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ31億96百万円増加いたしました。主な内訳は、在外連結子会社におけるIFRS第16号「リース」の適用に伴うリース債務の増加(36億50百万円)であります。

以上の結果、負債合計は304億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ107億42百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、276億25百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億94百万円減少いたしました。主な内訳は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上(1億12百万円)、剰余金の配当による減少(9億86百万円)、為替の変動に伴う為替換算調整勘定の減少(2億35百万円)、在外連結子会社におけるIFRS第16号「リース」の適用に伴う期首利益剰余金の減少(4億37百万円)であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年4月10日に公表いたしました通期の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,533,764	4,855,862
売掛金	236,650	188,716
売上預け金	527,376	3,009,892
たな卸資産	2,785,966	2,889,108
その他	1,535,050	1,927,027
流動資産合計	9,618,808	12,870,607
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	8,282,579	7,456,081
遊戯機械(純額)	22,114,021	23,310,756
使用権資産(純額)	—	5,172,643
その他(純額)	2,237,328	2,265,416
有形固定資産合計	32,633,929	38,204,898
無形固定資産		
のれん	317,923	259,932
ソフトウェア	689,908	750,480
その他	5,724	4,521
無形固定資産合計	1,013,557	1,014,934
投資その他の資産		
敷金及び差入保証金	4,172,074	4,230,047
その他	1,453,059	1,718,896
投資その他の資産合計	5,625,134	5,948,944
固定資産合計	39,272,621	45,168,777
資産合計	48,891,430	58,039,384

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,224,584	1,611,394
短期借入金	2,170,750	5,295,395
1年内返済予定の長期借入金	2,264,176	2,706,842
リース債務	394,138	2,062,923
未払費用	1,985,602	2,069,484
未払法人税等	680,255	747,870
賞与引当金	307,224	536,090
役員業績報酬引当金	24,350	37,506
閉店損失引当金	38,762	48,825
設備関係支払手形	1,468,302	2,445,121
その他	2,722,666	3,264,927
流動負債合計	13,280,815	20,826,381
固定負債		
長期借入金	5,330,697	4,802,313
リース債務	—	3,650,440
退職給付に係る負債	326,195	319,462
資産除去債務	538,682	608,004
その他	194,858	207,154
固定負債合計	6,390,432	9,587,376
負債合計	19,671,248	30,413,757
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,759,789	1,785,403
資本剰余金	4,778,432	4,804,046
利益剰余金	22,394,202	21,082,329
自己株式	△2,896	△3,057
株主資本合計	28,929,527	27,668,722
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△170,063	△405,604
退職給付に係る調整累計額	△168,012	△159,249
その他の包括利益累計額合計	△338,075	△564,854
新株予約権	112,288	67,389
非支配株主持分	516,440	454,370
純資産合計	29,220,181	27,625,627
負債純資産合計	48,891,430	58,039,384

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年3月1日 至2018年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年11月30日)
売上高	54,081,223	55,694,580
売上原価	47,674,701	49,029,518
売上総利益	6,406,522	6,665,062
販売費及び一般管理費	4,018,229	4,176,196
営業利益	2,388,292	2,488,865
営業外収益		
受取利息	23,072	56,625
受取保険金	20,892	30,789
固定資産売却益	17,387	3,021
預り金受入益	38,225	20,865
その他	25,836	36,632
営業外収益合計	125,413	147,933
営業外費用		
支払利息	264,486	574,740
為替差損	5,406	26,703
固定資産売却損	92,088	141,395
その他	25,280	29,921
営業外費用合計	387,262	772,759
経常利益	2,126,444	1,864,039
特別利益		
新株予約権戻入益	18,038	—
特別利益合計	18,038	—
特別損失		
閉店損失引当金繰入額	24,629	18,956
減損損失	467,182	562,469
災害による損失	17,430	—
店舗閉鎖損失	45,499	20,809
特別損失合計	554,742	602,234
税金等調整前四半期純利益	1,589,741	1,261,804
法人税、住民税及び事業税	1,168,416	1,395,361
法人税等調整額	△105,535	△229,756
法人税等合計	1,062,881	1,165,604
四半期純利益	526,859	96,199
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	7,724	△16,143
親会社株主に帰属する四半期純利益	519,135	112,343

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年3月1日 至2018年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年11月30日)
四半期純利益	526,859	96,199
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,246	—
為替換算調整勘定	△67,582	△249,725
退職給付に係る調整額	20,542	8,762
その他の包括利益合計	△42,793	△240,963
四半期包括利益	484,066	△144,763
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	468,891	△114,435
非支配株主に係る四半期包括利益	15,174	△30,328

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更)

在外連結子会社において、第1四半期連結会計期間の期首よりIFRS第16号「リース」を適用しております。これに伴い、借手のリース取引については、原則すべてのリースについて使用権資産及びリース債務を認識するとともに、使用権資産の減価償却費とリース債務に係る支払利息を計上しております。本基準の適用にあたっては、経過措置として認められている当該会計基準の適用による累積的影響額を適用開始時に認識する方法を採用しております。

この結果、当該会計基準の適用に伴い、第1四半期連結会計期間の期首の使用権資産が4,958,645千円、リース債務が5,744,355千円それぞれ増加し、流動資産その他が50,589千円、未払費用が374,290千円、利益剰余金が437,287千円、非支配株主持分が24,721千円それぞれ減少しております。

なお、当第3四半期連結累計期間の損益及び1株当たり情報に与える影響は軽微であります。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年3月1日 至 2018年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注)
	国内	中国	アセアン	計		
売上高						
外部顧客への売上高	43,416,280	6,566,468	4,098,474	54,081,223	—	54,081,223
セグメント間の内部売上高又は振替高	230,000	—	—	230,000	△230,000	—
計	43,646,280	6,566,468	4,098,474	54,311,223	△230,000	54,081,223
セグメント利益又は損失(△)	2,742,265	△465,959	114,959	2,391,265	△2,972	2,388,292

(注) 調整額は、セグメント間取引消去等によるものであります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間に、「国内」セグメント42,840千円、「中国」セグメント120,702千円、「アセアン」セグメント303,639千円の減損損失を計上しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注)
	国内	中国	アセアン	計		
売上高						
外部顧客への売上高	44,659,665	6,355,457	4,679,457	55,694,580	—	55,694,580
セグメント間の内部売上高 又は振替高	234,920	—	—	234,920	△234,920	—
計	44,894,585	6,355,457	4,679,457	55,929,501	△234,920	55,694,580
セグメント利益又は損失(△)	3,308,660	△864,156	47,447	2,491,951	△3,085	2,488,865

(注) 調整額は、セグメント間取引消去等によるものであります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間に、「国内」セグメント64,116千円、「中国」セグメント437,638千円、「アセアン」セグメント60,714千円の減損損失を計上しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。